



角 笛 会 会 報

ホームページ: http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~tsuno_hp/index.shtml

発行所

日本大学生物資源科学部
獣医学科角笛会

〒252-0880

藤沢市亀井野1866

0466-84-3624



巻頭のご挨拶

角笛会会長 中 川 秀 樹 (昭和40年卒)

日頃より角笛会の活動に御協力と御支援を賜っております会員各位に厚く御礼と感謝を申し上げます。我が国の現況は明日の见えない不況と不安定な政治情勢に不安ばかりが募っております。加えて、本年4月には口蹄疫が宮崎県で発生いたしました。初動防疫が緩慢であったことから全県に蔓延し、発症地域の牛、豚、山羊、羊、合わせて288,643頭が殺処分されるという甚大な被害となりました。未曾有な大量で迅速な家畜の処分は、従事する獣医師の確保と埋却地選定に混乱をきたしました。精神的にも肉体的にも疲弊が伴う困難であったこの作業に邁進されました、宮崎県支部の関係会員各位並びに全国各支部より支援に参加されました会員各位に深甚なる敬意を申し上げます。

9月に終息宣言が発表されましたが、被災地域には空虚となった家畜舎、生活基盤と資産を奪われた酪農家並びに仕事を失った獣医師が立ちすくんでおります。

角笛会は7月に開催いたしました総会において、宮崎県獣医師会への義援募金を行い、集まった御芳志に本会の義援を加えて30万円を日本獣医師会支援募金係へ送付いたしました。全国から宮崎県獣医師会に寄せられた義援総額は総額50,117,956円に達し、困窮する現地獣医師の支援に充てられことを宮崎県獣医師会より報告されました。改めまして募金を賜りました会員各位に厚く御礼を申し上げます。

今後は、農水省の口蹄疫検証委員会の結論を踏まえて危機管理体制を構築し、こうした人災とも云うべき事態の再発を防ぐために獣医師が主導的役割を担っていかなければなりません。

本会は本年度も準会員である在校生支援として、新入生歓迎会、スポーツフェスタ助成、国家試験サポート、卒業学生へは成績優秀者表彰、角笛会記念品贈呈を行うと共に経済困窮学生支援のために資金の積み立てを行ってまいりました。加えて、全国各支部の要請に対して教員を派遣して母校の近況を伝え、教育講演を行い、本部への要望、意見も賜り大学と同窓生の懇親と情報提供を図り絆を深める活動を実施いたしました。

獣医事の職域は多岐に亘り、卒業生の進路も様々です。校友各位におかれましては後輩への助言、相談対応、指導などに暖かな力添えを賜りたく存じます。

末筆であります、母校の発展と角笛会の隆盛に一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。



ご 挨 拶

獣医学科主任 佐 藤 常 男 (昭和50年卒)

会長の中川秀樹先生を始め、角笛会の先生方には日頃より、獣医学科の学生教育、研究活動にご支援ご協力を賜り誠にありがたく、厚くお礼申し上げます。

当学科は、本年3月に134名の卒業生を送り出しました。卒業生の多くは昨年同様、小動物臨床の道に進みましたが、公務員、産業動物分野にも選択肢を広げるよう学科としても継続して取り組んでおります。獣医師国家試験は134名中123名が合格し、91.8%の合格率でした。お陰様で、昨年度より上昇しましたが、獣医師養成を基本目標とする学科である以上、合格率の向上に向けて一層の努力を続けていきたいと考えております。4月には138名の新入生を迎え、新入生歓迎会が湘南鵠沼海岸で開催されました。恒例の地引網には中川会長がご出席され、入学のお祝いと励ましのお言葉をいただきました。また、さる5月22日には学部のスポーツフェスタが開催され、獣医学科の1年生は角笛会よりいただいたお揃いのTシャツを着て参加しました。その甲斐あってか、学科企画リレーでは第1位になりました。昨年に続き、今年の1年生も大変結束がよく、この絆が卒業後も続くことを願っております。現在、1年次から6年次まで853名の学生が、教育環境の整備されたここ湘南キャンパスで学んでおりますが、獣医学教育全体についてみますと、その充実・改善が全国的な動きとなっており、特にカリキュラムと臨床実習の在り方が重要な課題となっております。これに向けて当学科では委員会を設置し、組織的な取り組みを行っております。また4月より杉谷博士教授(獣医生物化学)、成田貴則助教(同)、関 真美子助手(総合臨床獣医学)の3名の先生方をお迎えし、教員組織の充実を図りました。

昨年は新型インフルエンザ、今年は宮崎県での口蹄疫の発生と、獣医学に係る重要な出来事が起きましたことは周知の通りでございます。口蹄疫につきましては全国の獣医系大学に獣医師の派遣要請があり、当学科からも宮崎県での防疫活動に協力させていただきました。

私ども獣医学科教員は母校日本大学の益々の発展に向けて、酒井総長の下、一丸となって獣医学教育の改善、充実を目指してまいりたいと考えております。皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共にご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

平成22年度 角笛会総会開催



事務局長 渋谷 久

平成22年7月4日(日)、日本大学生物資源科学部において平成22年度角笛会総会が開催されました。本年度も日本大学獣医学会と同日開催され、日曜日にもかかわらず多くの会員が集まりました。総会に先立ち中川秀樹会長より挨拶があり、藤田実議長(昭和47年卒)の進行で審議が行われました。宮崎県口蹄疫被害に対する援助と準会員に対する角笛会支援基金の募金活動について審議され、平成22年度の事業活動として承認されました。平成22年から23年度の角笛会新役員として、会長に中川秀樹氏、副会長に岩田颯三氏、蔵内勇夫氏、佐藤常男氏が選出されました。角笛会の発展に貢献した功労者として佐藤清孝氏(秋田県)、宇井昌生氏(東京都)、太田亮氏(東京都)、苦米地達生氏(群馬県)、藤井晋氏(岡山県)、本武久幸氏(熊本県)、笠松康雄氏(長崎県)の7名に賞状と記念品が授与されました。また日本大学動物病院の獣医臨床技術の向上と臨床獣医学研究の活性化を目的としたANMEC支援基金研究助成は、林幸太郎氏、関真美子氏に授与されました。総会後、食堂棟3階にて開催された懇親会には他学科同僚校友会の来賓の方々、角笛会校友、獣医学科教員そして学部生など114名が参加されました。本懇親会は準会員への支援活動の一環として約50名の準会員(獣医学科4、5、6年次学生対象)を招待し、校友と準会員の親睦と交流をはかりました。準会員には校友子女も含まれ、親子で参加する会員もありました。校友と学生が談笑する輪があちこちで見受けられ、にぎやかな懇親会になりました。来年度も同様な懇親会を考えております。是非とも多数の参加をお待ちしております。



総会資料

平成21年度 一般会計収支決算報告書					平成21年度 特別会計Ⅰ収支決算報告書【名簿会計】				
(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)					(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)				
収入の部					収入の部				
(単位:円)					(単位:円)				
科目	予算額	決算額	差 異	備 考	科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 支部会費	1,600,000	1,525,000	75,000	1525人×1,000円	1. 名簿作成繰入金	300,000	300,000	0	平成21年度分
2. 準会員費	2,500,000	2,541,000	△ 41,000	校友会本部	2. 雑収入	2,172	803	1,369	利息
3. 学部校友会交付金	200,000	200,000	0	学部より	3. 前年度繰越額	2,647,828	2,647,828	0	
4. 雑収入	4,705	720	3,985	利息等	収入合計(A)	2,950,000	2,948,631	1,369	
5. 前年度繰越額	2,770,295	2,770,295	0	平成20年度分	支出の部				
収入合計(A)	7,075,000	7,037,015	37,985		(単位:円)				
支出の部					科目	予算額	決算額	差 異	備 考
(単位:円)					1. 名簿作成費	2,950,000	0	2,950,000	
科目	予算額	決算額	差 異	備 考	2. 雑支出	0	0	0	
1. 経常費	2,160,000	1,442,260	717,740		支出合計(B)	2,950,000	0	2,950,000	
(1) 会合費	200,000	2,860	197,140	会議等	平成21年度次期繰越収支差額(C) = (A) - (B) 2,948,631 円				
(2) 交際費	300,000	236,237	63,763	支部総会祝い金等	平成21年度 特別会計Ⅱ収支決算報告書【支援基金・将来事業資金】				
(3) 旅費交通費	700,000	713,760	△ 13,760	支部総会旅費等	(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)				
(4) 通信運搬費	200,000	21,285	178,715	通信料・郵送料	(単位:円)				
(5) 事務局運営費	760,000	468,118	291,882	給食・消耗品等	科目	予算額	決算額	差 異	備 考
2. 会報費	300,000	244,440	55,560	会報25号(含葉送料)	1. 将来事業繰入金	500,000	500,000	0	平成21年度分
3. 名簿管理費	300,000	56,385	243,615	委託委託費等	2. ANMEC研究助成金	300,000	300,000	0	
4. 新入生・卒業生記念品費	600,000	370,982	229,018	平成21年度新入生・卒業生	3. 角笛会支援基金	500,000	500,000	0	
5. 雑費	300,000	194,880	105,120	功労賞・角笛会会長賞・特別賞	4. 雑収入	6,296	789	5,507	利息
6. 学生会補助費	200,000	200,000	0	第47回日本大学獣医学部同窓・校友会	5. 繰越額	2,043,704	2,043,704	0	
7. 補助費	130,000	130,000	0	第47回日本大学獣医学部同窓・校友会	収入合計(A)	3,350,000	3,344,493	5,507	
8. 組織振替費	200,000	210,000	△ 10,000	ホームページ管理費等	支出の部				
9. 特別会計Ⅰ	300,000	300,000	0	名簿会計へ	(単位:円)				
10. 特別会計Ⅱ	1,300,000	1,300,000	0	将来事業基金へ	科目	予算額	決算額	差 異	備 考
11. 予備費	1,285,000	498,500	786,500	含懇親会収支部額分・60周年記念分注金	1. ANMEC研究助成費	300,000	300,000	0	ANMEC支援基金(含振込手数料)
支出合計(B)	7,075,000	4,947,447	2,127,553	三菱東京UFJ銀行	2. 角笛会支援基金	500,000	0	500,000	
平成21年度次期繰越収支差額(C) = (A) - (B) 2,089,568 円					3. 将来事業基金	2,450,000	0	2,450,000	
					4. 記念誌作成費	0	0	0	
					5. 予備費	100,000	0	100,000	
					支出合計(B)	3,350,000	300,000	3,050,000	
					平成21年度次期繰越収支差額(C) = (A) - (B) 3,044,493 円				
					平成21年度 懇親会費収支決算報告書				
					(単位:円)				
					収入の部				
					(単位:円)				
					科目	予算額	決算額	差 異	備 考
					懇親会参加費	400,000	325,000	75,000	5,000円/61人・祝儀
					支出の部				
					(単位:円)				
					科目	予算額	決算額	差 異	備 考
					懇親会費	400,000	400,000	0	
					平成21年度収支差額 △ 75,000 円				
					収支差額は一般会計より補填				

平成22年度 一般会計予算(案)					平成22年度 特別会計Ⅰ予算【名簿会計】(案)				
(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)					(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)				
収入の部					収入の部				
(単位：円)					(単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 支部会費	1,600,000	1,600,000	0	1600名×@1,000	1. 名簿作成繰入金	300,000	300,000	0	一般会計より
2. 準会費	2,500,000	2,500,000	0	校友会本部	2. 雑収入	1,369	2,172	△ 803	預金利息等
3. 学部校友会交付金	200,000	200,000	0	学部より	3. 繰越額	2,948,631	2,647,828	300,803	
4. 雑収入	10,432	4,705	5,727	預金利息等	収入予算合計	3,250,000	2,950,000	300,000	
5. 前年度繰越額	2,089,568	2,770,295	△ 680,727		支出の部				
収入合計	6,400,000	7,075,000	△ 675,000		(単位：円)				
支出の部					科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
(単位：円)					1. 名簿作成積立金	3,250,000	2,950,000	300,000	
科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	2. 雑支出	0	0	0	
1. 経費費	2,160,000	2,160,000	0		支出予算合計	3,250,000	2,950,000	300,000	
(1) 会費	200,000	200,000	0	会議等	平成22年度 特別会計Ⅱ予算【将来事業資金】(案)				
(2) 交際費	300,000	300,000	0	支部総会等祝儀	(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)				
(3) 旅費交通費	700,000	700,000	0	支部総会等旅費	(単位：円)				
(4) 通信運搬費	200,000	200,000	0	通信	科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
(5) 通信運搬費	760,000	760,000	0	給与、ソフト等	1. 将来事業積立金	500,000	500,000	0	一般会計より
2. 会報費	300,000	300,000	0	会報26号	2. ANMEC研究助成金	300,000	300,000	0	
3. 名簿管理費	300,000	300,000	0	業務委託等	3. 雑収入	507	6,296	△ 5,789	預金利息等
4. 新入生・卒業生記念品費	700,000	600,000	100,000	新入生・卒業生記念品、懇親会招待など	4. 繰越額	2,544,493	2,043,704	500,789	支援基金分を特別会計Ⅲへ
5. 褒賞費	300,000	300,000	0	功労賞・角笛会会長賞・特別賞	収入予算合計	3,345,000	2,850,000	495,000	
6. 学会補助費	200,000	200,000	0	第48回日本大学獣医学会	支出の部				
7. 補助費	130,000	130,000	0	第99回日本大学医歯薬衛生・校友会	(単位：円)				
8. 組織拡充費	300,000	200,000	100,000	ホームページ管理等	科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
9. 特別会計Ⅰ	300,000	300,000	0	名簿作成繰入金	1. ANMEC研究助成金	300,000	300,000	0	
10. 特別会計Ⅱ	800,000	1,300,000	△ 500,000	将来事業繰入金、ANMEC	2. 将来事業基金	2,945,000	2,450,000	495,000	次回式典及び記念館作成の為の積立
11. 特別会計Ⅲ	500,000	0	500,000	角笛会支援基金	3. 予備費	100,000	100,000	0	
12. 予備費	410,000	1,285,000	△ 875,000		支出合計	3,345,000	2,850,000	495,000	
支出合計	6,400,000	7,075,000	△ 675,000		平成22年度 特別会計Ⅲ予算【支援基金】(案)				
					(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)				
					(単位：円)				
					収入の部				
					科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
					1. 角笛会支援基金	500,000	500,000	0	
					2. 雑収入	0	0	0	
					3. 繰越額	500,000	0	500,000	
					収入予算合計	1,000,000	500,000	500,000	
					支出の部				
					(単位：円)				
					科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
					1. 角笛会支援基金	1,000,000	500,000	500,000	
					支出合計	1,000,000	500,000	500,000	
					平成22年度 懇親会費予算(案)				
					(単位：円)				
					収入の部				
					科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
					懇親会参加費	400,000	400,000	0	5,000円/人
					支出の部				
					(単位：円)				
					科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
					懇親会費	655,000	400,000	255,000	
					準会員分は、一般会計（準会員支援費）より補填				

◆◆◆◆◆

第48回 日本大学獣医学会開催

◆◆◆◆◆

第48回日本大学獣医学会が下記の通り開催されました。本年も角笛会との同時開催となりました。

学 会 長：日本大学獣医学会 津曲 茂久

担当学会長：丸山 総一

日 時：平成22年 7 月 4 日（日） 10：00～15：30

会 場：日本大学生物資源科学部

<教育講演>

「胆嚢と膵臓の疾患について考える」 座長：津曲 茂久

渋谷 久 先生（獣医病理学研究室）

坂井 学 先生（獣医内科学研究室）

亘 敏広 先生（総合臨床獣医学研究室）

浅野和之 先生（獣医外科学研究室）

<一般講演>（口頭発表）

- ・CTによるダイナミックスタディを用いた心拍出量測定法の検討（齋藤広樹：日大・獣医放射線学、篠崎達也、石川智恵子、久楽賢治、高橋朋子、中山智宏）
- ・左前大静脈遺残が僧帽弁形成術後に及ぼす影響（古越真耶：日大・動物病院、上地正実、平池麗奈、水野壮司、水野祐、水越崇博、原田佳代子、沢田保、竹内潤一郎、内田周平、粕谷新音、遠藤征明、坂井学、滝山直昭）
- ・犬の動脈管開存症に対する動脈管結紮術と経カテーテル的動脈管塞栓術の比較（駒崎瀬利：日大・動物病院、浅野和之、石垣久美子、菅野信之、関真美子、手島健次、田中茂男）
- ・内科的治療が奏効した角膜穿孔の1例（黒澤隆：日大・動物病院、滝山直昭、坂井学、上地正実）
- ・犬と猫に対する全耳道切除術の治療成績（越智聡：日大・動物病院、浅野和之、手島健次、関真美子、石垣久美子、田中茂男）
- ・犬の胆嚢粘液嚢腫の治療成績：32症例（原 暁：日大・動物病院、浅野和之、越智聡、石垣久美子、手島健次、田中茂男）
- ・フェレット111頭における麻酔関連偶発死亡率の発生状況（小沼守：日大・獣医病理学、小野貞治、石田智子、村上彬祥、渋谷久、佐藤常男）



- ・抗痙攣薬に関連した肝硬変の犬3例 (清水七衣：日大・動物病院、坂井学、滝山直昭、鯉江洋、上地正実、亘敏広)
- ・椎間板ヘルニアにおけるMRmyelographyのスクリーニング検査としての有用性の検討 (内田貴大：日大・獣医放射線学、石川智恵子、久楽賢治、坂大智洋、高橋朋子、中山智宏)
- ・単純X線検査による椎間板ヘルニアの診断感度と特異性—ミニチュア・グックスフント114症例における椎間板腔の狭小化による判定— (張安莉：日大・獣医放射線学、三浦由佳、押田智枝、枝村一弥、北川勝人、石川智恵子、久楽賢治、坂大智洋、高橋朋子、中山智宏)

動物病院だより

平成22年度日本大学動物病院 (ANMEC) 便り

動物病院長 津曲 茂久

平成7年に横浜で開催された世界獣医師大会の開催時期に合わせて完成したANMECも今年で15周年を迎えました。開設当初3つの診察室で開始しましたが、数年後には3つの診察室が増設されました。さらに開設10年後には動物医科学研究センターの新設に合わせて大幅な増改築がなされ延べ床面積は3,700㎡となり、小動物部門としては国内最大規模になりました。この15年間のうち12年間に亘り動物病院長としてANMEC発展に陣頭指揮されてきた田中茂男先生が9月末日をもってこの度退任されました。田中先生は旧家畜病院時代から最も長く病院診療に携わり、湘南キャンパスに動物病院が移る際も病院の設計や運営の中心者としてご尽力されました。現在、ANMECや臨床教員の評価がひと際高くなってきたのも田中先生のご功績によるところ、大であります。本当に長年ご苦勞様でした。



そのような田中先生の後任として、10月1日から私が病院長を引き継ぐことになりました。田中先生のような幅広い臨床経験も持ち合わせていない身としては、不安もありますが、ANMECが尚一層発展するように努めてまいりたいと思いますので、御指導御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

構成人員と運営

現在、動物病院の診療・業務に携わっているスタッフは臨床教員20人、非常勤講師4人、有給研修医23人、支援獣医師4人、事務職員6人、動物看護師4人の計61人です。地域医療センターの中核としてその責務を果たす診療業務は、本来の教員の業務である研究や教育の経験からだけでは必ずしも対応しきれないところもあり、新たなスキルを積むべく臨床教員も努力しているところです。特に病院増改築後には急激に診療件数が増加しており、現在大きな組織に即したプロフェッショナルな病院運営が求められています。

事務室および研修医室の拡張

カルテ枚数、事務員増加に伴い、現在の受付スペースでは身動きが取れない状態になりましたので、今年度中に現病院の中庭側に事務室を拡張することになりました。また、有給研修医の人数増加に伴い現在の研修医室にはこれ以上机を置くスペースがなくなりましたので、事務室の2階部分を拡張することになりました。これで新旧合わせて最大40人の人員が収容可能となります。

臨床検査業務の業者委託

これまでANMECでは検査機器3台で生化学検査を行ってきましたが、検査待ち状態が日常的に起こっておりました。そこで今年度後期から外部の業者から臨床検査技師2名の派遣と高性能生化学検査機器 (オートアナライザー) を導入してもらうことになりました。これにより、昼間の生化学検査業務は全て派遣会社の検査技師により実施されると同時に、検査待ち時間が大幅に解消されることが期待されます。

ANMECセミナー

今年も8月を除き11回のANMECセミナーが下記の通り実施されました。現在、ANMECセミナーは卒後教育を兼ねて5年もしくは6年学生の臨床獣医学実習の一環としても実施されております。

ANMECセミナー開催報告

ANMECセミナーは、臨床に必要な基礎から新知見まで網羅した多くの情報の発信源です。ご興味をお持ちの先生方は、どうぞご参加ください。

平成21年度 ANMECセミナー開催 (第159回～第164回)

第159回 (H21.10.19開催)

教育講演；「疼痛管理～急性疼痛から慢性疼痛まで～」
「急性痛の管理」

佐野 忠士 (総合臨床獣医学研究室)
「慢性痛の管理～運動器疾患を中心に～」
枝村 一弥 (獣医外科学研究室)
「癌性疼痛の管理」
手島 健次 (獣医外科学研究室)

第160回 (H21.11.9開催)

教育講演；「獣医療におけるがんの疼痛管理」
Dr. Alice Villalobos
(米国カリフォルニア州 動物病院長、腫瘍専門医)

第161回 (H21.12.14開催)

教育講演；「獣医師が知っておくべき乳牛の栄養と飼養管理」
大滝 忠利 (獣医臨床繁殖学研究室)

第162回 (H22.1.18開催)

教育講演；「獣医学的トリビアな話：知識の欲求」
鯉江 洋 (獣医内科学研究室)

第163回 (H22.2.22開催)

教育講演；「緑内障」
滝山 直昭 (獣医内科学研究室)

第164回 (H22.3.15開催)

教育講演；「がっちり腫瘍シリーズ・その壱 「肥満細胞腫」
「肥満細胞腫の診断」
佐野 忠士 (総合臨床獣医学研究室)
「肥満細胞腫の外科的治療」
手島 健次 (獣医外科学研究室)
「肥満細胞腫の放射線治療」
高橋 朋子 (獣医放射線学研究室)

平成22年度 ANMECセミナー開催 (第165回～第169回)

第165回 (H22.4.19開催)

教育講演；「がっちり腫瘍シリーズ・その弐 「軟部組織肉腫」
「軟部組織肉腫の診断」
佐野 忠士 (総合臨床獣医学研究室)
「軟部組織肉腫の外科的治療」
手島 健次 (獣医外科学研究室)
「軟部組織肉腫の放射線治療」
高橋 朋子 (獣医放射線学研究室)

第166回 (H22.5.17開催)

教育講演；「刺してみよう!! ～穿刺系検査の概要を習得する～」
「FNA・Tru-Cutによる腫瘍の診断」
高橋 朋子 (獣医放射線学研究室)
「骨髓検査」
亘 敏広 (総合臨床獣医学研究室)
「関節液検査と脳脊髄液検査」
枝村 一弥 (獣医外科学研究室)

第167回 (H22.6.21開催)

教育講演；「What benefits ω -3 fatty acids can provide?
(ω -3 脂肪酸がもたらす恩恵って何だろう?)」
Dr. Todd Towell
(獣医師、MS、米国獣医内科専門医、
科学コミュニケーション シニアマネージャー
マーク・モーリス研究所)

第168回 (H22.7.12開催)

教育講演；「CTとMRI、そしてさらなる新しい画像診断方法」
中山 智宏 (獣医放射線学研究室)

第169回 (H22.9.27開催)

教育講演；「がっちり腫瘍シリーズ・その参 「口腔内腫瘍」
「口腔内腫瘍の診断」
佐野 忠士 (総合臨床獣医学研究室)
「口腔内腫瘍の外科的治療」
手島 健次 (獣医外科学研究室)
「口腔内腫瘍の放射線治療」
高橋 朋子 (獣医放射線学研究室)

獣医学科の近況

【獣医師国家試験】

第61回獣医師国家試験には、日本大学獣医学科から134名が受験し、123名が合格しました。合格率は91.8% (全国平均92.3%) でした。

【表彰、受賞】

平成21年度の卒業生のうち優等賞が立石春菜さん、学部長賞が須藤寿延さん、岡崎雅子さん、日本獣医師会会長賞が木村美保子さん、角笛会会長賞が清水七衣さん、岸本裕治さん、角笛会特別賞を伊藤秀俊さん、船木 綾さんにそれぞれ授与されました。

【博士 (獣医学) の学位取得者】

課程博士：中田真琴氏、菅野信之氏、関真美子氏、中島裕子氏、堀内 大氏、櫻井智尚氏、井上 快氏。
論文博士：宇野雄博氏。

【退 職】

渡部 敏教授（獣医生化学）がご退職されました。三浦康男教授（熱帯獣医学）がご退職されました。

【人事・昇格】

中山智宏准教授（獣医放射線学）が教授として昇進されました。伊藤琢也専任講師（獣医衛生学）、壁谷英則専任講師（獣医公衆衛生学）、佐藤雪太専任講師（実験動物学）が准教授として昇進されました。岡林 堅助手（獣医生化学）、佐野忠士助手（総合臨床獣医学）、滝山直昭助手（獣医内科学）、丸山治彦助手（獣医臨床病理学）、安井 禎助手（獣医解剖学）が助教として昇進されました。鯉江 洋准教授（獣医内科学）が獣医生理学研究室に異動されました。

【新 任】

杉谷博士教授（獣医生化学）、成田貴則助教（獣医生化学）、関真美子助手（総合臨床獣医学）が着任されました。

■新任の先生の自己紹介



（獣医生化学）
杉谷 博士教授

本年4月1日に獣医生化学研究室内の教授に就任いたしました。出身は日本大学農獣医学部獣医学科です。昭和47年に卒業し、その後、大学院獣医学研究科修士課程に進み、修了後すぐに日本大学松戸歯学部生理学教室の助手として勤務をいたしました。松戸歯学部では助手、講師、助教授、教授として合計36年間、生理学の教育と研究に従事してまいりました。その間の2年間は、米国ヴァージニア大学医学部と米国国立環境衛生研究所の分子細胞薬理理学研究室での研究生活も経験させていただきました。私の研究テーマは、「外分泌腺における分泌の分子メカニズム」です。歯学部にはいたものですから、外分泌細胞としては唾液腺細胞を使用しておりました。現在の科学分野では、学問の領域を超えたアプローチがなされております。そのため、分泌という機能を解明するために、生理学、薬理学、生化学、分子生物学、形態学的な手法を用いた研究を行ってまいりました。獣医生化学研究室においても、分泌の研究をさらに深めたいと考えております。学生時代は世田谷区下馬の校舎での経験しかありませんでしたので、湘南キャンパスの広さには驚かされました。また、様々な施設も充実していることに驚かされております。獣医生化学という科目の講義を通して、科学の楽しさを学生さんに学んでほしいと思いますし、何よりも、一人でも多くの優れた後輩を輩出したいと存じております。宜しくお願い申し上げます。



（獣医生化学）
成田 貴則助教

本年4月1日より獣医生化学研究室に助教として着任した成田貴則と申します。私は東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻博士課程を修了後、東京大学大学院理学系研究科派遣研究員、国立遺伝学研究所生物遺伝資源情報総合センタープロジェクト研究員、日本大学松戸歯学部生理学講座助教を経て、このたび生物資源科学部獣医学科に異動いたしました。大学院から遺伝研ではメダカのリソース構築を行い実験動物としての立ち上げ、そしてメダカの全ゲノムシーケンスに関わってきました。現在は、唾液腺における外分泌メカニズムを分子生物学的な手法で解析しています。

私にとって獣医学は初めての分野ですが、これまで経験した他分野の知識を生かして教育および研究をがんばっていききたいと思います。今後とも宜しくお願い申し上げます。



（総合臨床獣医学）
関 真美子助手

4月より獣医学科総合臨床獣医学研究室に助手として配属されました。私は2002年に岩手大学農学部獣医学科を卒業後、日本大学付属動物病院（ANMEC）に4年間有給研修医として所属しました。初めて日本大学に来たときは、学生の人数の多さと、大学や付属動物病院の施設が充実していることに非常に驚きました。研修医時代は診療や手術、宿直などもあり、とても忙しい毎日でしたが、非常に内容の濃い充実した研修生活を送ることができたと思っています。研修医の後半では外科に所属し、多くの外科疾患や外科手術を経験することができました。その中で、臨床だけではなく研究にも興味を持つようになりましたので、2006年4月から日本大学大学院に進学しました。大学院では外科学研究室に所属し、犬の肝疾患、特に肝臓腫瘍について研究を行いました。肝臓周囲の血流を遮断し、出血量を抑えて腫瘍を切除する肝阻血法について研究し、これまでは外科手術を断念していた難しい症例においても、最近では積極的な外科手術を行えるようになってきていると思います。

まだまだ至らない点ばかりではありますが、周りの皆様に支えていただき、着任から半年が過ぎました。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

■平成22年度獣医学科入試状況

選抜方法	募集人員	受験者数	合格者数	競争率
本校試験(第1期)	35名	1,178(492)	119(58)	9.9
本校試験(第2期)	15名	589(254)	39(23)	15.1
センター試験利用	10名	555(260)	25(19)	22.2
一般推薦(公募制)	学部全体で70名	49(31)	26(18)	1.9
一般推薦(公募制・関連産業後継者)	学部全体で22名	20(8)	7(3)	2.9
校友子女推薦(公募制)	学部全体で23名	9(4)	1(0)	9.0

()内は女子

■学年担任(平成22年度)

- 1年次：中山智宏教授(獣医放射線学)、加納 墨准教授(獣医臨床病理学)、西村知良専任講師(一般教養)
 2年次：上地正実教授(獣医内科学)、坂井 学専任講師(獣医内科学)
 3年次：鎌田 寛教授(獣医臨床病理学)、枝村一弥専任講師(獣医外科学)
 4年次：中西照幸教授(魚病学)、浅野和之准教授(獣医外科学)
 5年次：丸山総一教授(獣医公衆衛生学)、佐藤雪太准教授(獣医実験動物学)
 6年次：泉對 博教授(獣医伝染病学)、伊藤琢也准教授(獣医衛生学)

トピックス

ワシントン州立大学夏期臨床実習学生を引率して

獣医学科 津曲 茂久 教授



牛・馬コースのX線撮影実習。カセットレス方式で直ぐに撮影結果を確認できる。

平成22年度WSU夏期臨床実習は7月25日～8月8日に実施されました。今年の参加者は計22名(男子11人、女子11人)と例年より少人数でしたがWSU側の特別の配慮で実施されました。コース別の参加者人数は小動物15人、牛・馬コース7人でした。小動物コースは従来と同様の内容でしたが、馬コースは牛・馬コースとなり内容が大幅に変更されました。両コースの内容とも概ね好評でした。学生に対するイベント企画として今年から新しい試みも加わり、WSU側の熱意が感じられました。今年初めて実習終了後に3人の学生がWSU動物病院のローテーション教育に参加しました。WSU側との協議において最低25人程度の参加者が望ましいとの意見がありました。日大側の要望としてオリエンテーションを時間割に入れることと、学生の学習

意欲を上げるためにベスト学生賞の検討を要望したところ来年から実施するとの回答をもらいました。日大側の今後の取り組みとして、研修参加予定者だけでなく1年～6年を対象として、希望者に専門英語教育を月1回、2時間、6回程度実施することを検討していきたいと思います。引率教員として、津曲茂久教授(団長)、渋谷 久准教授、山谷吉樹准教授、加藤亜香根副手が同行しました。

日本大学生物資源科学部校友会にて岡野眞臣氏表彰



平成22年7月10日(土)生物資源科学部食堂棟3階において、日本大学生物資源科学部校友会懇親会が酒井健夫総長および田中英壽理事長のご臨席のもと開催されました。その席上、日本大学名誉教授の岡野眞臣先生が表彰され、学部校友会会長の内田俊太郎氏より記念品と花束が授与されました。岡野先生は平成22年春の叙勲において瑞宝中綬章を授賞され、その功績が認められました。

第9回日本大学医療系同窓・交友学術講演会の開催

事務局長 渋谷 久 (昭和62年卒)

平成22年10月9日(土)市ヶ谷の日本大学会館大講堂で第9回日本大学医療系同窓・交友学術講演会が松戸歯学部部の当番幹事のもと、開催されました。医療系における最近の話題(下記プログラム)に関して医学部、歯学部、松戸歯学部、薬学部、生物資源科学部獣医学科から各領域でご活躍の先生方にご講演をいただき、最新の知見を交換する場になりました。本年度の学術講演会の参加者は角笛会から22名、全体では一般入場者(学生など)をいれて170名以上となり、非常ににぎやかな講演会になりました。懇親会は竣工して間もない桜門会館で行われ、他学部の校友と親交を深めることができました。平成23年度の第10回講演会は角笛会が担当になります。10周年記念として特別企画などの案が出ており、一層の盛会が期待されます。

開会の辞

阿部正也(当番学部・松戸歯学部同窓会・会長)

来賓挨拶

酒井健夫(日本大学総長)

第1講演 日本大学松戸歯学部同窓会

演者:葛西一貴(日本大学松戸歯学部 歯科矯正学・教授)
座長:村松 守(日本大学松戸歯学部同窓会・学術担当副会長)
子供たちの正しい口腔機能の発育のために
—咀嚼トレーニングで叢生(乱杭歯)の発生を予防する—

第2講演 日本大学医学部同窓会

演者:福田 昇(日本大学大学院総合科学研究科生命科学専攻・教授)
座長:平山晃康(日本大学松戸歯学部 脳神経外科教授/日本大学医学部同窓会 渉外担当理事)
医科領域における最近の再生医療について

第3講演 日本大学生物資源科学部獣医学科校友会(角笛会)

演者:中西照幸(日本大学生物資源科学部 魚病学研究室・教授)
座長:津曲茂久(日本大学生物資源科学部 獣医臨床繁殖学研究室・教授)
実験動物としての魚類
—ヒト疾患モデルとして—

第4講演 日本大学歯学部同窓会

演者:日野浦光(日本大学・客員教授)
座長:藤川謙次(日本大学歯学部同窓会・学術委員会副委員長)
むし歯について、新しくわかってきたこと、新しい治療法

第5講演 日本大学薬学部校友会

演者:塚本昭次郎(日本大学医学部 社会医学系法医学分野・兼任講師)
座長:日高慎二(日本大学薬学部 薬剤師教育センター・教授)
アルコール代謝と飲酒問題

閉会の辞

中川秀樹(次回当番学部・生物資源科学部獣医学科校友会・角笛会会長)

懇親会(日本大学 桜門会館)

司会・進行:富樫 潔(松戸歯学部同窓会)
来賓挨拶:牧村正治(松戸歯学部長)



中西照幸教授の講演

角笛会関連記事(校友だより)

常 正 会

千葉県支部 岩田 颯三(昭和40年卒)

昭和40年3月に獣医学科を卒業した者で、クラス担任であった常包 正教授のお名前をお借りし常正会を立ち上げ毎年同窓会を開催しております。

平成21年度は千葉県在住者が担当し、平成21年11月28~29日に日本の表玄関である成田国際空港のすぐ近くのホテルで開催しました。今回の参加者は、会員19名とご婦人4名の合計23名の参加でしたが、懇親会で

は和気藹々と昔話や近況等に話が進み、あっという間の2時間でした。2次会でも全員が参加し懇談とカラオケと楽しい一時でした。翌日は、全国でも有名な初詣トップ3の成田山新勝寺を参拝し、併設されている公園を散策し、来年の再開を誓い解散しました。

今回参加できなかった常正会の会員の方は、来年は徳島県で開催する予定ですので、来年7~8月頃通知が行きますので奮ってご参加下さいますようお願いいたします。



角笛会関連記事(支部だより)

■高知県支部だより

◆平成22年度 角笛会高知県支部定期総会開催

龍馬伝ブームに沸く南国土佐・夏の恒例行事よさこい祭りが酷暑の中で繰り上げられます。華やかで躍動感溢れるよさこい祭りが全国から188チームが参加して毎年8月9日～12日まで市内15ヶ所の競演場・演舞場で踊りが始まります。平成22年8月8日に日本大学生物資源学部角笛会高知県支部の学術講演会ならびに総会及び懇親会を開催しました。総会の前に、獣医師会館で本部獣医学科の亘 敏広氏(総合臨床獣医学研究室)をお招きして大学の近況・状況等の報告を頂き、講演会では「消化器疾患・嘔吐・下痢の病態と診断ならびに治療」の演題で3時間余りの講演を20数名の会員と県小動物獣医師会会員も多数参加して頂き、今後の疾病診断・診療技術等に大いに参考となる研修会でした。総会・懇親会は場所をかえて映画・小説等の舞台に取り上げられた有名?な料亭「得月楼」で22名の出席を得て議案全て異議なく了承され、総会終了後、当顧問で当支部長・生物資源科学部校友会会長及びオール日大支部会長と歴任され長期間に亘り活動されました長崎牧夫氏に支部規約の慶祝(喜寿)として記念品が贈呈されました。懇親会では当支部最長老(卒17)で顧問として支部運営に常々参加・協力を願っている竹村守暉氏の御発声にて祝宴に移り、賑やかに会員相互の親睦を深め土佐の酒盛り(杯)が飛び交いながら母校での思い出、お互いの現在の近況等で盛り上がり、土佐の暑い夏の夜は過ぎていきました。最後に全員で日大校歌を歌い大学にエールを送り、お開きとなり蒸し風呂のような暑い街へヨッチョレ、ヨッチョレと繰り出しました。



文責：高知県支部長 竹内 潔 (S44年卒)

■角笛会東京都支部「東京角笛会」の年間事業

本会の年間事業は、総会・セミナーの開催、新年会の開催、会報の発行、日本大学医療系同窓・校友学術講演会開催に協力することなどであります。

役員は、顧問1名と会長のほか、副会長2名、事務局長(理事)1名、理事71名、監事2名の構成です。理事の中より総務委員会、学術委員会、会報編集委員会の各委員を務めていただいています。

役員会、委員会、正副会長・事務局長会議などは、いずれも書面で行っています。これは各氏が多忙であるので、きわめて能率的で十分、目的を果たしています。会長、副会長、事務局長(理事)のいわゆる3役会議は、文書FAXで必要に応じて頻繁に行っています。

本会の事業推進は極めて、順調であると自負していますが、総ての事業が定期的に行われ、それらのことがらが、定着してきているためだと思っています。

総会とセミナーは同日に併催することで、会員の便宜を図っています。

新年会は、毎年、曜日に関係なく、1月10日に開催しています。このことによって開催日が定着しています。会場も都心部のアルカディア市ヶ谷(私学会館)に定着しています。

会報は、毎年2回、定期的に発行していて、平成22年度は5月25日に第38号を発行しました。次号第39号は、10月下旬に発行を予定しています。会報には、本会の総会とセミナーの開催通知と総会資料、総会・セミナーの開催報告、角笛会の総会記事、日本大学生物資源科学部校友会の記事、日本大学獣医学会の記事、日本大学医療系同窓・校友連絡会が開催する学術講演会案内、獣医学科教職員のリスト、住所を把握している会員のリスト、日本大学の関連記事など幅広く掲載するように努めています。会報に総会資料を掲載することで事前に通知し、周知することができ、総会当日は会報を出席者に配布することできわめて、機能的であります。

本年の本会のセミナーの講師は、日本大学総合臨床獣医学研究室の佐野忠士先生で「周術期患者管理について」のご講演をいただきました。とても有意義なセミナーでした。

日本大学医療系同窓・校友連絡会が開催する講演会に獣医関係として、本会が加入団体でありましたが、平成17年度から角笛会が加入団体になりました。この連絡会の設立の経緯と開催地の関係で本会がバックアップすることになっています。毎年開催で今年は、第9回の講演会が10月9日開催されることになっていて、本会でも参加者を募っています。加入団体は、獣医関係は角笛会、そのほか、日本大学松戸歯学部同窓会(本年開催担当)、日本大学薬学部校友会、日本大学医学部同窓会、日本大学歯学部同窓会です。

本会の年会費は、平成4年以前の卒業生は本部会費1,000円と本会会費2,000円で、合計3,000円。平成5年以降の卒業生は、角笛会関係は終身会員として本会会費2,000円のみです。本部会費としての収入は、当該年に全額、角笛会に納入しています。

東京に在住または勤務し、会報「東京角笛会」を受け取っていない方は事務局にお知らせ下さい。

事務局は、〒179-0073 練馬区田柄3-13-23 池田 丞 電話03-3970-1249 FAX03-5848-3040です。

(平成22年9月14日記)

文責：東京都支部長（東京角笛会会長） 倉林恵太郎（S36年卒）

■福島県支部だより

◆角笛会福島県支部総会・懇親会に参加して

平成22年7月9日（金）福島県土湯温泉・向瀧にて角笛会福島県支部総会および懇親会が開催され、本部事務局として参加しました。土湯温泉・向瀧は吾妻小富士の麓に位置し、大浴場から溪流を望む静かな温泉宿でした。私事ですが、福島は父の出身地で、渋谷家代々の墓もあり、度々帰省するので非常に親近感があります。このような地で支部会員の先生方から心温まる歓迎を受け、安らかな気持ちで臨席できたことを非常に感謝しております。



総会では長谷川支部長の挨拶に引き続き、平成21年度事業報告・決算報告および平成22年度事業計画・収支予算が審議され、承認されました。次に特別講演として「獣医学科の近況」と題し、日本大学獣医学科の現状についてスライドを用いて講演をしました。懇親会には24名が参加され、おいしい日本酒を肴に懇親を深めました。

角笛会福島県支部の本年度の会員登録は62名ですが、他の支部と同様、若い同窓の出席率が思わしくありません。本部事務局では卒業生の住所登録があり次第、各支部事務局にその情報を送り、支部登録を依頼しております。今後、学生に対して角笛会の存在の周知と卒業生の進路情報の収集をさらに推し進め、益々、角笛会が発展するよう努力していきたいと思っております。

文責：角笛会事務局長 渋谷 久（S62年卒）

■石川県支部だより

◆平成22年度 角笛会石川県支部総会開催予定

私ども日本大学角笛会石川県支部は、諸般の事情により暫しの間休眠いたしておりました。しかしながら、有志の尽力により昨年の11月に24名の会員（総会員数38名）を招集し、諏訪藤弘先生（昭和32卒）を支部長に擁立し、全会一致で活動再開の賛同を得ることが出来ました。会則や予算等の立案に時間を費やしてしまい、本会への入会の申し込みが今年10月と遅くなりましたが、来年度には本会の承認を頂けることとなりました。



本年度の支部総会の開催を11月20日（土）にホテル日航金沢において予定しておりますが、誠に残念なことに当日は本校の推薦試験と重なった為、講師の先生をお招きすることが叶いませんでした。次回は是非ともお越し頂き、最新の母校の様子をお聞かせ願いたいと思います。何分休眠明けということもあり、いきなりの活動は身体に負担が掛りますので焦らずゆっくり邁進していく所存です。最後に私ごとであります。昨年の支部だよりを拝読し、同期の長崎先生（高知）や中澤先生（北海道）が各支部において事務局長としてご健康で活躍されている事を知り、二十数年前の記憶が蘇り懐かしく思うとともに、成程これが角笛会なのかと感嘆いたしました。

文責：石川県事務局 青柳浩一（S60年卒）

学会関連記事

第49回日本大学獣医学会開催案内

日 時：平成23年7月

場 所：日本大学生物資源科学部

問 合 せ：事務局

〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866

日本大学生物資源科学部

総合臨床獣医学研究室（山谷 吉樹）

TEL.0466-84-3900（病院受付）

E-mail: yamaya@brs.nihon-u.ac.jp

※角笛会のホームページは随時、更新されております。角笛会関係の行事予定、支部同窓会からのお知らせ、また最新の角笛会報など多くの情報を発信しております。さらにホームページから新住所の登録もできます。是非、お立ち寄りください。

ホームページアドレス

http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~tsuno_hp/index.shtml



◆求人のお願い◆

女子学生の増加に伴い、小動物臨床の勤務獣医師を希望する者が増えております。会員からの求人申し込みは学生就職指導課ならびに6年生担任（泉對 博教授、伊藤琢也准教授）までご連絡下さい。

編集後記

角笛会報にご意見、ご希望等がございましたら獣医外科学研究室の手島（teshima.kenji@nihon-u.ac.jp）あるいは角笛会事務局（tsuno-3@brs.nihon-u.ac.jp）までご連絡下さい。（平成22年11月 手島健次 平成15年卒）